

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**



**山形県東根市**  
が応援するふるさと名物

「さくらんぼのふる郷」果樹王国ひがしね

「佐藤錦」発祥の地・生産量日本一のまちの

「さくらんぼ観光果樹園」

「さくらんぼ東根温泉」

「さくらんぼ加工品」





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

## 山形県東根市

地域の  
プロフィール



東根市は、山形県の中央部に位置し、人口約48,000人の農業と工業が盛んなまちです。

市内には空港、新幹線停車駅、高速道路などの幹線道路があり、交通アクセスが良好です。

日本一のさくらんぼ生産量※1を誇り、最高級品種「佐藤錦」の発祥の地です。昼夜の寒暖差が大きく、水はけの良い土壌は、果樹生産に適しており、シーズンを通じてフレッシュなフルーツが味わえる果樹王国です。

※1 出展：農林水産省「山形農林水産統計年報」



## 1

### 主な地域資源

## ◆さくらんぼ（農林水産物）



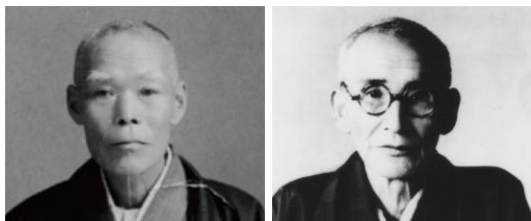
### ～最高級品種を育む、自然と人～

東根市は、昼夜の寒暖差が大きい上、降雨量が比較的少なく、果樹の生育に好影響を与える気象条件に恵まれています。

また、扇状地で水はけが良い土壌は、排水と通気性を好むさくらんぼ栽培に適しており、果実の濃い甘味を引き出します。

「佐藤錦」は約100年前、東根市に生まれ育った佐藤栄助翁の努力で初めて実を結び、友人の岡田東作翁が世に広め、その後の生産者の努力により、佐藤錦はさくらんぼの王様と言われる地位を築きました。佐藤錦の生みの親である佐藤翁と、育ての親である岡田翁は、東根市の名誉市民としてその功績をたたえられています。

現在においても、果実の実割れを防ぐ「雨除けテント」の開発、若手生産者集団「東根市果樹研究連合会」による技術研鑽など、生産者は品質向上、安定化のために努力を重ねています。



佐藤錦「生みの親」  
佐藤 栄助 翁

佐藤錦「育ての親」  
岡田 東作 翁



園地にかげられた「雨除けテント」

# ふるさと名物の内容



## GI保護制度登録「東根さくらんぼ」

このように、さくらんぼに適した環境、生産者の努力、そして東北最大級の市民マラソン「果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会」をはじめ、さくらんぼにこだわったまちづくりが総合的に評価され、平成29年4月に地理的表示（GI）保護制度に「東根さくらんぼ」が登録されました。



タイにおけるプロモーション活動



40万円/kgの値がついた「東根さくらんぼ」のセリ



12,000人を超えるランナーが参加する  
「さくらんぼマラソン大会」

## 2

### ふるさと名物



## 1. さくらんぼ観光果樹園

### ～もぎたてをいただく贅沢～

東根市には、数多くのさくらんぼ観光果樹園があり、園主がこだわりぬいた栽培技術で育てたさくらんぼを一番新鮮な状態で楽しむことができます。

旬の6月、7月はもちろん、ハウス栽培のさくらんぼ狩り体験も可能。園地によって加工品や果物の販売を行ったり、軽食を提供したりして、来園者をもてなしています。

## 2. さくらんぼ東根温泉

### ～百年守り続けた琥珀の湯～

さくらんぼ東根温泉は、周囲に田園やさくらんぼ畑などがある、のどかな環境に位置しています。約100年前に灌漑用水を得ようとしたところ、偶然に湧出しました。湯量豊富で琥珀色の滑らかな泉質が特徴のナトリウム塩化物泉が、体を温めます。

## 3. さくらんぼの加工品

### ～さくらんぼのふる郷ならではの味覚～

東根市では、さくらんぼを活用した様々な商品が加工・販売されています。

旬のさくらんぼを添えたフルーツパフェや、さくらんぼジャム、タルト、ドレッシングなど、他では味わえない逸品が勢ぞろいしています。

さらに、さくらんぼの種を活用し、保温効果の高い枕「チェリーピロー」も展開しています。

#### 加工品の例

- ・フルーツパフェ
- ・フルーツワイン
- ・さくらんぼのタルト
- ・さくらんぼジャム
- ・チェリーピロー（枕）



# 山形県東根市の取り組み



東根市では、より多くの人に「日本一のさくらんぼのまち」をPRするため、さくらんぼの長期保存や加工の取り組みを支援するとともに、地域資源である「さくらんぼ果樹園」、名湯を誇る「さくらんぼ東根温泉」の活性化に取り組みます。各種取組は、6次産業化や農産物のブランディングに取り組んでいる、「果樹王国ひがしね6次産業化推進協議会」を主体として、東根市観光物産協会、東根市農業協同組合、東根温泉協同組合など各団体と連携して推進します。

## ◆ 新たな技術を活用した冷蔵冷凍設備の活用支援

傷みが早いさくらんぼについて、長期間にわたり高品質を維持できる設備を導入する事業所を応援します。

近年は様々な保存技術が発達しつつあることから、試験的な長期保存の取り組みについても後押しします。

## ◆ 各種イベントを活用したPRを強化

グルメイベントやさくらんぼマラソン大会を活用し、全国に東根市のさくらんぼを発信します。

グルメイベントでは、おいしさを保ったまま大切に保管されたさくらんぼを活用した、特別メニューを展開します。



# 東根市長のメッセージ

奥羽山脈の麓、山形県の内陸部に位置する東根市は、年間を通じておいしい果物が収穫できる「果樹王国」であります。

なかでも、さくらんぼの最高級品種「佐藤錦」の発祥地である本市のさくらんぼは、恵まれた土壌と、情熱にあふれた農家の手により、生産量日本一を誇ります。

このたび、東根市は日本一のさくらんぼが紡ぐ本市の地域資源を「ふるさと名物」として、一体的に盛り上げてまいります。

「佐藤錦」が世に出されて90年余、さくらんぼ東根温泉も開湯から100余年、先達が1世紀にわたり大切に守り育ててきた歴史は、本市の大きな財産です。

この地が育んできた「さくらんぼ」を核とする観光資源や加工品を皆様の五感で味わっていただければ幸いです。

平成31年4月19日

東根市長 土田 正剛

